

日高ノ全農各支部ハ昭和三年度ノ「小作料五割減」ノ要求ヨリ端
ヲ發シ「地主側ニテ組織セル昭和土地會社」トノ間ニ爭議ガ起リ
其ノ間多クノ犠牲者ヲ出シ八十町歩ニ亘ル「立入禁止」ニアヒ、
今日迄地主ト徹底的ニ對立シテ來タ。

之レニ對シ全農本部チハ爭議發生當時ハ明日ノ日エモ小作側ノ勝
利ニナル如ク農民ヲ煽動シナガラ爭議ガ深刻化スルエツケ何等ノ
具體的對策ヲ講ズルチナク今日チハ爭議ヲガヘリ見ヨウトセズ本
年ニナツテモ全農本部カラ一人モ來ナイ狀態チアル。

日高ノ農民諸君ハ「全農」ノ頼ミエナラナイ事ヲハツキ知ルト
同時ニ、マルクス主義（共產主義）ニヨル農民運動ガ日本エ於イ
テハイレラレナイ事ヲ認識シタ、然レ全農カラ脱退シテ何モレナ
イ場合、此ノドン底エアル農民ノ解放ハ出來ナイ、農村更生、農
民生活ノ向上、ソレハ日本精神ニ基ク農民運動ダト云フ事ヲ考エ
タ結果皇農本部エ代表者トシテ玉置、前田ノ兩氏ガ來訪サレタノ

チ本部チハ三月十七日吉田理事長、吉岡常任ガ日高郡藤田村宇吉
田ニ出張、志賀、財部、小松原、内原ノ各村ヨリ代表者四十九名
ガ青年會場ニ集リ、皇農ノ主義精神エツイテ話シ合ヒ、吉田常任
ハ居残り「五ヶ村百三十數名」ノ加盟手續キツナレ、全農民諸君
ハ更生ノ意氣ニ燃エ四月四日御坊町ニ聯合結盟式ヲ舉行スル事ニ
決定シタ。尙當日ハ

陸軍少將 杉村 勇次郎 閣下

愛國政治同盟總務委員 藤岡 文六氏

理事長 吉田 賢一氏

等ヲ迎ヘテ結盟記念大演說會ヲ開催スル事エナツタ、コレヲ通ジ
全和歌山縣下ニ皇農ノ組織ハノビ愛國農民ハ奮イ起ラントシタ。
アル！

兵庫縣ノ第一聲！明石公會堂ニテ

兵庫縣ノ組織工作ニ本部チハ、加古、明石、印南、加東、各郡ニ